情報公開に拘わって

新宿区　70才　佐藤鶴次郎

【情報公開に拘わって】

今、日本中の役所がカラ出張、カラ残業、官官接待等々、税金の無駄使いが問題に成って大騒ぎに成っている。我が町「新宿」はどうなっているの？とある日、天下に名高い歌舞伎町に有る役所に足を運んだ。

日頃住民票などの手続きは出張所などで用が足りるので区役所には縁が遠い、少し敷居が高い感じがしたが、正義の為と勇を鼓して乗り込む。入り口の案内嬢に用件を告げて、何処へ行けばと聴くと３階の総務の文書課へ行って下さいとの事で、早速乗り込む。嫌な話なので気むずかしい小父さんの応対を覚悟していたが、あんに相違して妙麗なレデイである。レデイの話では新宿区は他の区に比べて情報公開が進んでいる、どの様な事でもどうぞとの、協力的な話。

【先ず区長の交際費の閲覧を求める】

ところが区長の交際費は、領収書その他関係書類が無いので見せる事が出来ないと、秘書係長、総務係長が出てきて説明、私は納得出来ないまま、次ぎへ進んだ。

話の中で新宿は役所の中の公開条例は有るが、議会に付いてはまだ出来て居ないとの話で、何時頃出来るのか？との質問には議会事務局としては明確な返事が出来ない様子で、後で調べた処では昨年の議会の出席実績から見る限り10月の全議員の出席実績は平均 1.2日で我々庶民の感覚では忙しいとは全く考えられず、其の気が（作る気が）全く無いと思いました。因みに都内で公開条例の出来て居る区は２３区の中13区で「此の資料は今渋谷で議員海外視察団の無駄遣いを追及している上田さんの資料です」新宿はもっと議員その設定を要求すべきと思いました。資料の欲しい人は佐藤まで。

次ぎに、上記の上田さんも闘い、東京都でも文京区議の若林ひとみさんなど「開かれた議会をめざす会」が要求しているが、新宿の視察旅行費について調べて見た。平成七年の同予算は4700万で有るが八年度は2700万で有る。此の差は何処で出るか不思議で有るが七年の実績を見て驚いた。区議全員で５回の一泊旅行に出掛けて居る。問題が有れば担当委員が調査報告すべきで、この間の経緯については知り合いの議員の方へ訊ねたいと思います。

【海外視察旅行】

七年の海外旅行は一回、（注旅費30万以上の旅費の資料で出して貰う）カナダ、米国西海岸へ９名11泊12日で行き「海外事情視察報告」が出て居るが、それを読んでも、肝心の新宿区との対比なり優劣について一言も無いのは残念だ。優れた点を導入する為の問題、条件整備の為の諸作業の推進など、諸提案が無ければ、感心して帰る形での物見遊山と変わらない。因みに此の報告諸の作成費だけでも 100万以上の経費が掛かると推察する。

【最後に】

係の人に情報公開は、今世間では流行に成って居るので、新宿でも大分人が来ませんかと聴いた処、前に卒論を纏める為と言って来た方が居ましたが、その他では佐藤さんが初めてです、と言われた。社会的に是だけ問題と成りながら、私が初めてとは残念で、私も今後区に対しての提案なり、苦言も出して行きたいと思う様に成りました。

区の議員さんも国政の問題と安易に考えないで、医療の問題など、患者負担を増やさない為の合理的改革に真剣に取り組むべきと思います。私は今後とも気長く情報公開の運動を進める事が、市民の真の民主化運動であり、此の世の閉塞状態を改め、若い人達が希望を持てる様に成ると思います。

【皆さんの声をお寄せ下さい】

1)１編５００字以内。
　これ以上の寄稿は事務局にご相談ください。
2)内容は、本会報として相応しいと思われるものであれば自由です。
3)締切は毎月末日とします。
4)寄稿された原稿は原則として本会報に掲載しますが紙数の関係で割愛する場合もあります。
5)原稿には、氏名／住所／TEL／FAX／NIFTY-ID 等を記入ください。
6)原稿送付先：会報事務局・杉原健児
〒182東京都調布市柴崎2-13-3つつじが丘ﾊｲﾑC509
TEL&FAX 0424-86-6497　NIFTY-ID GEF03673